

経口糖尿病用剤

メトホルミン塩酸塩錠 250mgMT「TE」 500mgMT「TE」 を服用されている患者さんへ



監修:太田西ノ内病院 糖尿病センター長 杉本 一博 先生

メトホルミンを服用 されている患者さんは、 お酒を飲みすぎない ように注意しましょう。



- メトホルミンの副作用として、まれに乳酸アシドーシスを起こすことがあります。過度のアルコール摂取等によりリスクが高まります。
- お酒の飲みすぎにより肝臓での乳酸の代謝能が低下することや、脱水状態をきたすことが危険因子となりますので、ご注意ください。
- 特に、習慣的に大量のお酒を飲む場合は注意が必要です。

Q 乳酸アシドーシスってなに?

- 血液中の乳酸が異常に増えて、血液がいちじるしく酸性に傾いた状態です。
- 症状としては、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢、体がだるい、筋肉痛、呼吸が苦しいなどがみられます。
- まれな副作用ですが、進行すると重篤化することもあり、治療が必要な状態です。
- 早期治療と予防が大切ですので、メトホルミンを服用されている患者さん、ご家族の皆さまは、これらの症状に注意しましょう。
- これらの症状があらわれた場合には、直ちにメトホルミンの服用を中止し、主治医に連絡してください。



飲酒の適量*には個人差があり、体調や併存症、飲酒習慣の影響も大きいので、主治医の先生にご相談ください。

*糖尿病の管理におけるアルコール摂取量の上限:
25g/日(ビール500mL、日本酒1合程度)を目安として、
個々の飲酒習慣によって個別化を図る。

(参考:日本糖尿病学会編著:糖尿病診療ガイドライン2019, 南江堂, p44-45)

